

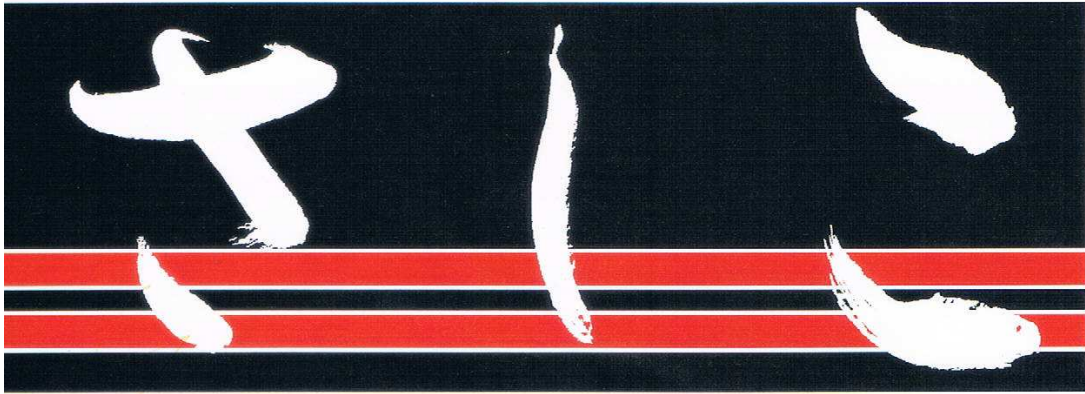
# 第12号

平成 27年 2月 23日

高岡市消防団  
成美分団発行

発行責任者 室谷 明雄  
(分団長)

印刷 (有)北陸芯板製作所



## 平成二十七年度 高岡市消防団出初式



一月十日(土)九時三十分より市役所前にて

出動人員 消防職員176名 消防団員879名  
出動車輛 消防署7台 消防団34台



分列行進のようす



出初式、県知事、市長様検閲のようす



池の端地内での一斉放水

### 栄えある表彰

成美分団無火災表彰受章  
(対象期間H25・12月～H26・9月)

精勤表彰(20年)：折本班长  
精勤表彰(5年)：村谷団員  
精勤表彰(5年)：越井団員

### ご挨拶



高岡市消防署長 澤崎 茂

平成二十七年の新春を迎え、成美校下の皆様には、常日頃から高岡市の消防行政にご理解とご協力をいただいております。改めて感謝申し上げます。

また、成美分団の皆様には、昼夜を問わず地域の安全・安心を守るため、崇高なボランティア精神で消防防災活動にご尽力いただいております。感謝と敬意を表する次第です。

昨年の高岡市の火災件数は、平成に入りまして最も少ない34件でしたが、8月には、市内の住宅密集地におきまして、全焼4棟を含む6棟が焼損するという大規模な火災が発生しました。成美校下にもこのような木造密集地が多く現存しており、一旦火災が発生すれば同じような危険をはらんでいます。火災を発生させないことが一番の決め手ですが、もし発生したときでも早く発見し小火のうちに消すことが大事です。このために高岡市では住宅用火災警報器や消火器の設置をお願いしているところですが、まだ、すべてのご家庭に普及している状況にありません。未設置のご家庭がありましたら、速やかに設置していただきたいと思っております。

さて、3月14日には、いよいよ待ちに待った北陸新幹線が開業し、多くの観光客が高岡市を訪れることになることと思います。私は、高岡市を訪れていただく方への最大のおもてなしは、安全安心の提供であろうかと考えております。そういう意味におきまして、地域の皆様と地元の成美分団、そして高岡消防署とが一体となって、安全・安心なまちづくりを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

結びに、成美校下の皆様と成美分団の皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

「みなさん 今年も ご安全に！」

# 高岡市消防団消防操法大会

H25年6月21日(土)  
於、スポーツコアグラウンド



## 成美分団 4位入賞(敢闘賞)



出場前に高橋市長が激励に回られました



第1線延長のようす



第1線放水開始



第2線延長のようす



第2線放水開始

### 4位敢闘賞の盾とトロフィー



4月始めから大会前日まで毎日  
(日曜、ゴールデンウィーク除く)  
朝5時~7時まで訓練を行いました。

### 出場選手

指揮者	鷲北稔 班長
1番員	関尚宏 団員
2番員	林靖浩 団員
3番員	井波大介 団員
4番員	室谷英夫 団員
補助員	江淵元将 団員

### 成績表

分団名	延長タイム(秒)			総得点
	1線	2線	計	
1 二塚分団	53	66	119	182
2 古府分団	51	62	113	177
3 牧野分団	51	66	117	175
4 成美分団	56	65	121	172
5 伏木北分団	53	63	116	168
6 戸出北分団	55	68	123	166
7 西高岡分団	52	72	124	160
8 横田分団	55	67	122	155
9 五位山分団	60	68	128	152
10 平米分団	59	70	129	148
11 和田分団	55	66	121	147
12 博労分団	58	72	130	146
13 二上分団	63	70	133	145

消防操法大会は、全国の消防団が毎年行っています。消防技術の向上と規律、安全性を身につける為訓練を重ねています。得点は正しい消防用具の取り扱い方、迅速安全に気力ある規律正しい動きが採点されます。



[高岡市消防団全分団が1年おきに半分ずつ出場します]

# 高岡市消防団対抗ソフトボール大会

H26年8月24日(日)  
於、二上富大グラウンド

抽選で4ブロックに分かれてトーナメント戦を行う

## ☆成美分団(ファイヤー5)ブロック優勝!!

団員の家族の応援があって、炎天下の中素晴らしいプレーで勝ち上がりました。午後から団員と家族が皆でバーベキューをして優勝の喜びを分かち合い日頃の消防活動の慰労を行いました。



# 成美分団の昨年の活動報告と会計報告

毎月1日、15日定例会 校下巡回広報
春、秋 火災予防週間 一週間校下巡回広報
歳末特別警戒 12月28日～31日 巡回広報
出初式と春季、秋季高岡方面団訓練
消防操法練習 4月16日～6月20日まで
水防訓練 1回、水防出動1回、火災出動6回
分団ごと部隊実践訓練 3月9日、9月21日 2回
左儀長警戒 2回、自治防災訓練 1回
冬期消火栓旗立と回収、及び除雪
成美小学校 避難訓練立ち合い
市消防団対抗ソフトボール大会
消防ポンプ車と置場の清掃、毎月1回

## H26年 高岡市消防団成美分団火の用心 会計 収支報告書

目 平成26年1月1日～至 平成26年12月31日

収入の部			
項目	予算額	決算額	増減
前年度繰越金	0	0	
火の用心	480,000	474,400	△5,600
雑収入			預金利息
合計		474,400	474,400

支出の部			
項目	予算額	決算額	増減
会議費	100,000	100,123	△123
報奨費	160,000	160,117	△117
分担費	40,000	38,000	2,000
事務費	6,000	6,145	△145
通信費	8,000	7,296	704
水道・光熱費	80,000	79,310	690
火災共済掛金	60,000	59,400	600
火の用心・印刷費	35,000	32,680	2,320
慶弔費	0	0	0
車両関係費	10,000	4,800	5,200
諸雑費	0	0	0
予備費	0	0	0
支出合計	499,000	487,871	11,129
次年度繰越金	0	△13,471	13,471

### 会計監査報告

平成24年度会計監査を実施したところ、帳簿、預金通帳等を慎重に精査したところ、適正かつ妥当なることを認めましたので、報告します。



H27年出初式



佐野 団員 谷 団員

### 新入団員紹介

団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	団員	班長	班長	班長	班長	班長	班長	部	部	部	副分団長	分団長	皆
佐野 博保	谷 知洋	樋口 順彦	村谷 諭志	越井 賢一	江刈 元将	池崎 智幸	林 靖浩	井波 大介	今村 裕二	東 弘光	室谷 英夫	関 尚宏	折本 寛之	鷲 北稔	橋田 弘嗣	細呂 木勉	栗 田 実	吉田 英喜	慶寺 長造	橋本 米暁	馬場 裕一	加納 満	室谷 明雄	自治会名	
油町	開発本町	新成町	地子木町	向野町	熊野一・二丁目	開発本町	開発本町	明野町	レジデンス新成	宝町	五福縄手町	塩倉町	上桶屋町	地子木町	大坪町三・四丁目	地子木町	五福縄手町	開発本町	地子木町	開発本町	五福羽衣町	熊野一・二丁目	大森町三丁目	油町	



## ご挨拶

成美分団長 室谷 明雄

早春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。成美校下の皆様には日頃より消防団活動に深いご理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

高岡市の火災件数は昨年、前年に比べ17件も少なく市民各位の防災意識の高さの表れで、これまた全国火災出火率最低の記録が連続二十四年と伸びそうです。この地域防災意識の高さが、成美の子供達にも脈々と受け継がれ、成美小学校の防災学習の取組が高い評価を受け、栄えの消防庁長官表彰を受けられました。三月の春休み中でしたので、6年生の皆さんは卒業した後で、受章の感動を直に受けられませんでした。5年生の代表が、霞ヶ関の総務省2Fホールにて堂々と受けてこられました。

東日本大震災の後、熱心に防災学習に取り組まれた校長先生はじめ先生方、児童の皆さんの苦勞の賜物と敬意を持って心よりお喜び申し上げた次第です。

我々分団員も、成美の子供達に遅れをとってはならないと、2年連続で市消防操法大会に出場し、県大会出場を目指して、例年より一ヶ月早く練習に取り掛かり大会に挑みました。二ヶ月余りの練習の成果が出て、前年の優勝チームより良い得点を挙げたのですが、この年は全国大会のある年で強豪チームが次々と名乗りを上げ、厳しい戦いとなり、惜しくも3点差で4位(敢闘賞)という成績で、念願の県大会出場はなりません。今年の出番がありませんが、次回は必ず県大会に出場するのだと意気は下がっていません。今、お陰様で昨年2名の新団員が入団し、ちょうど定員に達し、また頼もしい仲間が増えました。

今後とも、団員一同地域の安全を守る為、より一層訓練を重ね、活動してまいりますので、皆様の御理解御協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 守られる側から守る側へ

高岡市立成美小学校 校長 魚川 洋子

成美小学校では東日本大震災以来、自分の命を自分で守るために、考える防災教育を進めています。総合的な学習の時間と組み合わせたり、児童会活動とつなげたりして、防災意識が高まるよう活動を進めています。

6年生は、学校での避難訓練を何度も重ねていくうちに「たくさんの人に自分たちが守られていること」に気がきました。そこで守られるだけでなく、自分たちにもできる防災はないかと考え、成美小学校の防災意識を高めるために、各クラスの防災リーダーを集めて避難方法を話し合う防



災会議を開いたり、体育館で劇やクイズで防災の大切さを訴える防災集会を行ったりしました。

さらに地域の方々にも呼びかけようと、防災新聞を作成して配ったり、防災マップを描いて地域の危険箇所が一目で分かるようにしたり、防災ハンドブックを作成したりしました。子供たちは、大好きで大切な成美を守ろうと、自らできることに挑戦しています。

成美地区を大切なふるさととして誇りに思う子供に育てほしい。それには、地域の一員としての自覚を育て、一人一人が地域にできることに進んで取り組む経験が大切です。6年生の活動は、人としての根っこを作ったと思います。

全校では、昨年11月には、授業参観後に災害時の引き渡し訓練を行いました。参加された全保護者の方々に体育館に集まってもらい、順番にお子さんを確認しながら手渡ししました。6年生の男子でも、お母さんに手渡しされると、気恥ずかしい中にも嬉しい表情が見られ、温かい気持ちになりました。



本校体育館は耐震の建物です。授業中であれば、災害時における我が子の安否確認のために、ぜひ学校へお越しください。



**成美小学校少年消防クラブ(BFC)が全国のクラブの中から優良少年クラブと認定され H26年3月25日、東京霞ヶ関2Fホールで大石消防庁長官より表彰盾を受彰しました。**

◎H26年度は学習と防災訓練を組み合わせ、単なる避難訓練ではなく、様々な角度から災害について考え、自分達で訓練を提案。それを実践して、さらに反省点や課題を見つけて学習するという素晴らしい取り組みをされました。このお子さん達が大人になった時、世界のどこに暮らしていても身に付けた防災知識を生かして身を守り、地域の為に役立つ事と信じてやみません。

## 26年度 防災学習の実践内容

	教科	総合的な学習の時間	他教科・他領域との関連
1学期	国語科 「推薦スピーチをしよう」 ・ 他者へ伝える言語能力を高める。	○成美地区の人から学ぶ。 ・ 市役所 ・ 消防分団 ・ 自治会長	○BFC 編成式 (一員として、地域を巡る)
2学期	理科 「大地のつくりと変化」 ・ 災害のメカニズムについて知る。	○自分でできる活動を進めよう。 ・ 地域の問題を知る(調査活動) ・ 防災意識を高める活動を進める。 (防災マップ作り、パンフレット、ポスター作り)	○全校防災会議の実施 (避難訓練前の事前学習、訓練後の振り返り学習) ○避難訓練の実施 (自らの課題を見つけ、避難訓練を自ら提案する)
3学期	社会科 「わたしたちの願いをかなえる政治」 ・ 政治と防災の関係を知る。	○活動を伝えよう ・ 全校防災集会の実施 ・ 地域、保護者への呼びかけ	○ジュニア福祉活動 (地域の高齢者の方へのポスター配布)